

平成 27 年 8 月 6 日

各 位

会 社 名 トラスコ中山株式会社
 代表者名 代表取締役社長 中山 哲也
 (コード 9830 東証一部)

問合せ先 常務取締役経営管理本部長 藪野 忠久
 (TEL. 03 - 3433 - 9833)

剰余金の配当、業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、下記のとおり平成 27 年 6 月 30 日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議するとともに、平成 27 年 2 月 9 日の平成 26 年 12 月期決算発表時に公表した業績予想及び配当予想につきまして、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

なお、決算期変更（3 月決算から 12 月決算）により前事業年度は、9 か月の変則決算（平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）となっています。

記

1. 配当の内容

	決 定 額	直近の配当予想 (平成 27 年 2 月 9 日公表)	前 期 実 績 (平成 26 年 12 月期)
基 準 日	平成 27 年 6 月 30 日	同左	平成 26 年 9 月 30 日
1 株当たり配当金	31 円 00 銭	27 円 00 銭	25 円 50 銭
配 当 金 総 額	1,022 百万円	—	840 百万円
効力発生日	平成 27 年 8 月 17 日	—	平成 26 年 11 月 17 日
配 当 原 資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 平成 27 年 12 月期通期業績予想数値の修正（平成 27 年 1 月 1 日～平成 27 年 12 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 163,000	百万円 11,900	百万円 11,900	百万円 7,360	223 円 18 銭
今回修正予想 (B)	165,000	12,545	12,627	7,916	240 円 08 銭
増減額 (B - A)	2,000	645	727	556	16 円 90 銭
増減率 (%)	1.2	5.4	6.1	7.6	7.6
(参考) 前年同期間実績 (平成 26 年 1 月 1 日～ 平成 26 年 12 月 31 日)	156,375	11,829	11,793	7,365	223 円 34 銭

3. 配当予想の修正

	年間配当金		
	第 2 四半期末	期 末	合 計
前回予想 (平成 27 年 2 月 9 日公表)	27 円 00 銭	29 円 00 銭	56 円 00 銭
今 回 修 正 予 想		29 円 50 銭	60 円 50 銭
当 期 実 績	31 円 00 銭		
前期実績 (平成 26 年 12 月期)	25 円 50 銭	16 円 50 銭	42 円 00 銭

4. 修正の理由

(業績予想の修正)

在庫アイテムを継続的に拡大したことで、当社のロングテールビジネスがより市場に浸透し、特にeビジネスルートにおいて、当社の在庫アイテムを活用した様々な業種の通販企業との取引が拡大した結果、当第2四半期累計期間の売上高が予想を16億円程度上回りました。また、新規取扱アイテムの増加や継続的な在庫アイテムの拡充等により利益率が想定を超えて推移しました。さらには、一部の商品の価格改定により販売価格が上昇し、旧価格で仕入れた在庫商品の販売が利益を押し上げました。

その結果、当第2四半期累計期間の業績が予想を上回ったため、通期の業績予想につきまして上方修正いたします。

(注) 業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しています。

実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

(剰余金の配当及び配当予想の修正)

当社は、日本のモノづくりのお役に立つことを目的とした事業活動を行い、持続的な成長を果たすことにより、その成果を最大限株主様に還元できると考えています。利益配当につきましては、安定配当としての下限を設けた上で、一定の基準を超えた利益が計上された場合、配当性向を25%として業績に連動した配当を行うことを基本方針としています。

当第2四半期末の利益配当につきましては、この基本方針に基づき、1株当たり四半期純利益123円21銭に対して配当性向25%の31円となり、前回発表の予想金額27円を修正するものです。また、通期業績予想について見直しを行ったため、年間配当金の予想は、当該基本方針により60円50銭となり、期末配当金の予想につきましては29円50銭に修正いたします。

以上